

第16回

市民アンケート調査報告書
集計結果概要

(平成25年度)

○前橋市



目 次

1 調査の目的	1
2 調査の内容	1
3 調査の方法	1
4 調査結果の見方	1
5 調査票回収結果	2
6 回答者属性	3
7 集計結果	
(1) 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしの基盤・安全安心)について.....	4
(2) 恵み豊かな自然と共生するまちづくり(環境との共生)について.....	5
(3) 個々が光り輝くまちづくり(健康・福祉)について.....	6
(4) 地域資源を活かした活力あるまちづくり(産業活力)について.....	8
(5) 豊かな心を育むまちづくり(教育・文化)について.....	9
(6) 市民協働のまちづくり(協働・行政経営)について	10
(7) 暮らしやすさについて	12
(8) 市政へのニーズと課題の把握	13

1 調査の目的

市民アンケート調査は、市民との協働によるまちづくりを進めるため、多様化する市民の意識や要望などを的確に把握し、市民ニーズを市政に反映させるために実施しています。

結果は「第六次前橋市総合計画後期基本計画」を遂行するための基礎資料とするほか、さまざまな施策の実現に向けて活用いたします。

2 調査の内容

(1) 調査項目 …… 第六次総合計画の分野別計画に関する6項目と総合満足度を問う項目

①快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしの基盤・安全安心)について

- ・満足度について
- ・防災対策について
- ・公共交通機関について
- ・まちづくりについて

②恵み豊かな自然と共生するまちづくり(環境との共生)について

- ・満足度について
- ・ごみ減量について

③個々が光り輝くまちづくり(健康・福祉)について

- ・満足度について
- ・高齢福祉および介護について

④地域資源を活かした活力あるまちづくり(産業活力)について

- ・満足度について
- ・豚肉の生産について
- ・観光について

⑤豊かな心を育むまちづくり(教育・文化)について

- ・満足度について
- ・文化芸術について

⑥市民協働のまちづくり(協働・行政経営)について

- ・満足度について
- ・地域活動および市民活動支援について
- ・市政情報について
- ・情報機器の利用について

⑦暮らしやすさについて

(2) 自由意見 …… 市政に対する提案・意見等を自由に記入できる欄を設定

3 調査の方法

- (1) 調査地域 前橋市全域
- (2) 調査対象 15歳以上の市民
- (3) 調査対象者数 5,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から地区別、性別、年齢別人口比率を考慮し無作為に抽出
- (5) 調査方法 メール便による配布、郵送による回収
- (6) 調査基準日 平成25年10月1日
- (7) 調査期間 平成25年10月1日～20日

4 調査結果の見方

- (1) 回答者総数は3,093です。特に記載のない場合、割合の分母は3,093、それ以外の場合、n数として記載しています。
- (2) 割合は、小数点第2位を四捨五入しました。したがって、割合の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答を求める設問では、100%を超えています。
- (3) 設問によっては、「1つ選択」のように選択肢の数を指定していますが、それより多く選択されている場合も全て集計しました。また無回答や不明な回答は、表示していません。
- (4) 13ページ「市政へのニーズと課題の把握」はポートフォリオ分析の手法を用い、縦軸を「市政への期待度」、横軸を「市政への満足度」としました。期待度は問31を総合評価とした対象項目(満足度を問う項目)が総合評価に与える影響の強さ、満足度は対象項目を点数化した平均値とし、いずれも軸の中心が偏差値50です。また、グラフ上では対象項目を政策名に置き換えて標記しています。

5 調査票回収結果

(1) 回収状況

区 分	対象者数(人)	回収者数 (人)	回収率 (%)
今 回 (H25.10)	5, 0 0 0	3, 0 9 3	6 1. 9
前 回 (H23.10)	5, 0 0 0	3, 1 3 7	6 2. 7

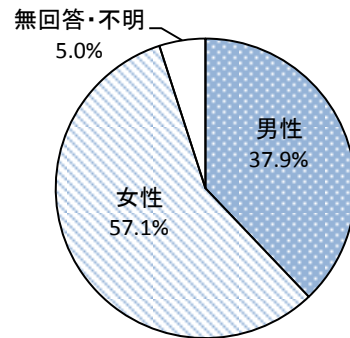
(2) 性別・年代別・地区別回収状況

区 分		対象者数 (人)	回収者数 (人)	回収率 (%)	
性 別	男性	2, 4 8 7	1, 1 7 2	4 7. 1	
	女性	2, 5 1 3	1, 7 6 7	7 0. 3	
	無回答・不明		1 5 4		
年 代 別	10 歳代(15 歳～)	2 4 7	1 0 1	4 0. 9	
	20 歳代	5 2 5	1 8 3	3 4. 9	
	30 歳代	8 0 7	3 7 0	4 5. 8	
	40 歳代	9 2 7	5 3 8	5 8. 0	
	50 歳代	8 3 3	5 5 9	6 7. 1	
	60 歳代	1, 0 3 0	7 6 4	7 4. 2	
	70 歳以上	6 3 1	4 8 3	7 6. 5	
	無回答・不明		9 5		
地 区 別	本庁管内	北 部	1 8 7	1 2 7	6 7. 9
		東 部	1 5 3	1 0 4	6 8. 0
		中央部	1 1 9	8 0	6 7. 2
		南 部	4 1 5	2 6 2	6 3. 1
		上川淵地区	3 9 3	2 3 8	6 0. 6
		下川淵地区	1 2 5	8 1	6 4. 8
		芳賀地区	1 5 4	9 4	6 1. 0
		桂萱地区	4 2 7	2 4 5	5 7. 4
		東地区	4 4 2	2 7 8	6 2. 9
		元総社地区	2 5 8	1 5 7	6 0. 9
		総社地区	1 8 7	1 0 2	5 4. 5
		南橘地区	5 9 2	3 6 1	6 1. 0
		清里地区	5 3	4 0	7 5. 5
		永明地区	3 2 8	2 1 6	6 5. 9
		城南地区	2 7 1	1 7 6	6 4. 9
		大胡地区	2 6 0	1 4 9	5 7. 3
		宮城地区	1 2 4	8 1	6 5. 3
		粕川地区	1 6 9	1 0 8	6 3. 9
		富士見地区	3 4 3	1 9 4	5 6. 6

6 回答者属性

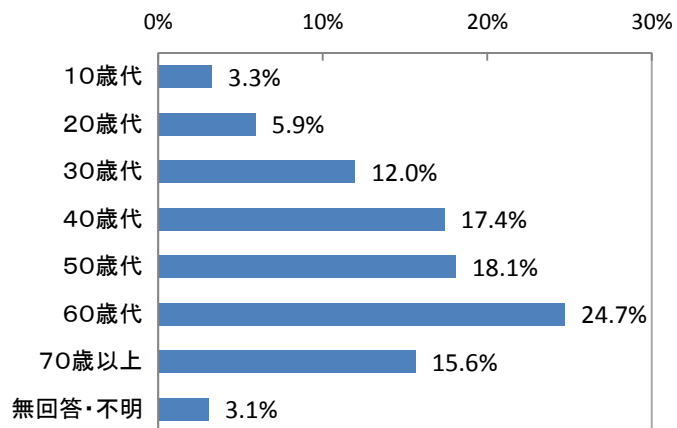
(1) 性別

性別	回答者数(人)	割合(%)
全体	3,093	100.0
男性	1,172	37.9
女性	1,767	57.1
無回答・不明	154	5.0



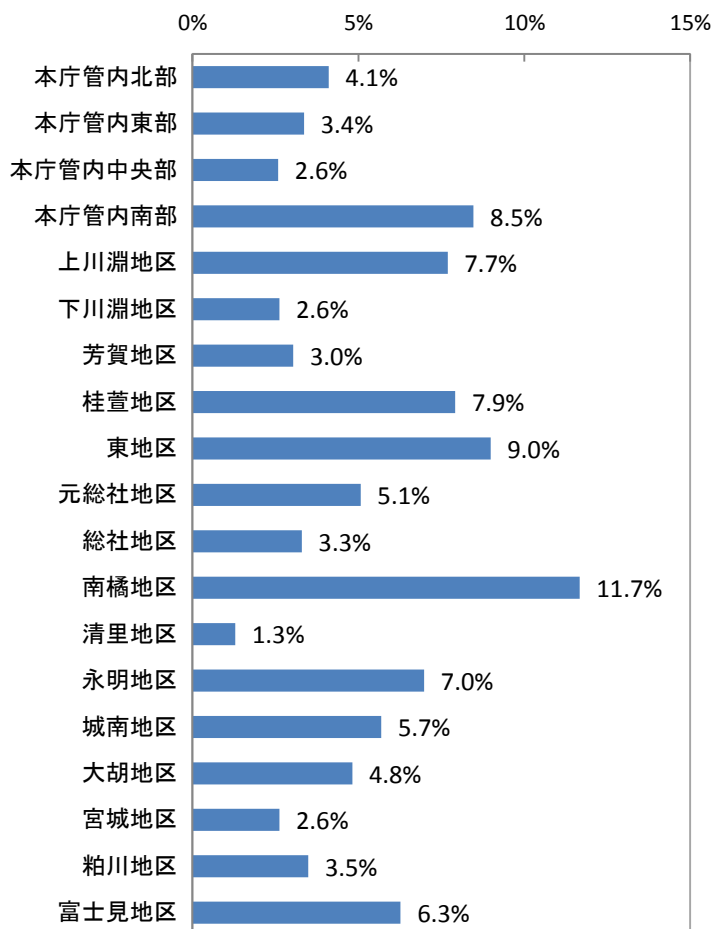
(2) 年代

年代	回答者数(人)	割合(%)
10歳代(15歳~)	101	3.3
20歳代	183	5.9
30歳代	370	12.0
40歳代	538	17.4
50歳代	559	18.1
60歳代	764	24.7
70歳以上	483	15.6
無回答・不明	95	3.1



(3) 地区

地区	回答者数(人)	割合(%)	
本庁管内	北部	127	4.1
	東部	104	3.4
	中央部	80	2.6
	南部	262	8.5
	上川淵地区	238	7.7
下川淵地区	81	2.6	
芳賀地区	94	3.0	
桂萱地区	245	7.9	
東地区	278	9.0	
元総社地区	157	5.1	
総社地区	102	3.3	
南橋地区	361	11.7	
清里地区	40	1.3	
永明地区	216	7.0	
城南地区	176	5.7	
大胡地区	149	4.8	
宮城地区	81	2.6	
粕川地区	108	3.5	
富士見地区	194	6.3	

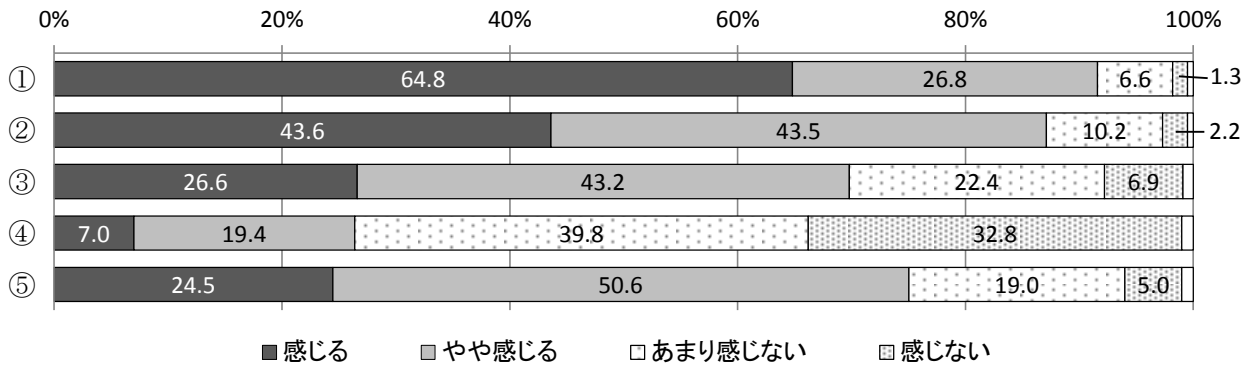


7 集計結果

■快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしの基盤・安全安心)について

【問1】次の①～⑤について、日々の生活の中であなたはどのように感じていますか。

- ①安心して水を使え、衛生的な環境で生活していると感じますか。
- ②災害や事故、犯罪などが少なく、安心して生活していると感じますか。
- ③道路が整備されており、自動車、自転車での移動が便利であると感じますか。
- ④鉄道やバスなどの公共交通機関が便利であると感じますか。
- ⑤便利で快適な住環境で生活していると感じますか。



【問2】火災や自然災害に備え、日ごろから準備していることは何ですか。(あてはまるものをすべて選択)

1 ラジオ、インターネット、防災メールなど、災害情報の入手方法を確保している	45.6%
2 自然災害に備え、避難場所の確認をしている	39.3%
3 消火器を設置している	38.3%
4 寝室に住宅用火災警報器を設置している	37.6%
5 非常食、飲料水等を常備している	32.9%
6 家族、知人等との連絡方法を確認している	26.1%
7 非常用持出し袋を常備している	18.8%
8 何もしていない	12.3%
9 その他	2.0%

【問3】あなたは、どのような公共交通機関が充実するとよいと思いますか。(2つまで選択)

1 路線バス	60.6%
2 鉄道	44.5%
3 デマンドバス	30.6%
4 特になし	7.6%
5 タクシー	5.8%
6 その他	3.6%

※デマンドバスとは、利用者の予約により、定められた運行区域内での乗降が可能な乗合バス

【問4】あなたのお住まいの地域のまちづくりを進める際に特に重要だと思うことは何ですか。(2つまで選択)

1 買い物や交通など、生活に便利なまちづくり	58.8%
2 高齢者や障害を持つ方に優しいまちづくり	41.1%
3 子育て環境に適したまちづくり	27.8%
4 防災など安全性の高いまちづくり	22.4%
5 自然環境が豊かなまちづくり	19.2%
6 商業が活発でにぎやかなまちづくり	12.8%
7 文化・芸術活動の盛んなまちづくり	6.5%
8 農業が盛んなまちづくり	4.9%
9 歴史的な建造物や史跡を活かしたまちづくり	3.8%
10 工業が盛んなまちづくり	1.8%

【問5】前橋市全体のまちづくりを進める際に特に重要だと思うことは何ですか。(1つ選択)

1 子ども、高齢者、障害を持つ方など、すべての人に優しいまちづくり	38.1%
2 安全・安心なまちづくり	30.9%
3 市街地と地域が連携を持ちながら共に発展するまちづくり	18.5%
4 産業と連携した活力のあるまちづくり	16.2%
5 自然環境に配慮したまちづくり	5.9%
6 美しい景観のまちづくり	4.1%

※設問は「1つ選択」ですが、複数の選択があった場合も集計に含めたため、割合の合計が100%を超えています。

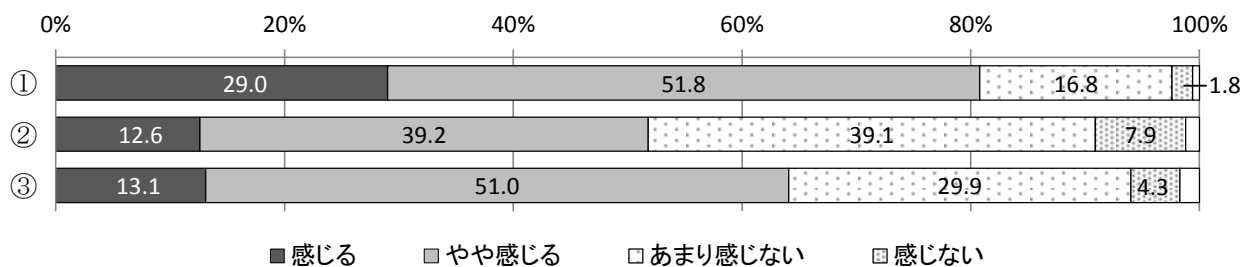
■恵み豊かな自然と共生するまちづくり(環境との共生)について

【問6】次の①～③について、日々の生活の中であなたはどのように感じていますか。

①緑が多く、自然環境に恵まれており、やすらぎを感じますか。

②リサイクルの機会が増え、生活から出るごみの量が減っていると感じますか。

③省エネやエコを意識して生活する人が増えていると感じますか。



【問7】日ごろからごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか。(あてはまるものをすべて選択)

1 ごみの分別を徹底している	79.9%
2 詰め替え商品やリサイクル商品を購入している	59.8%
3 必要な分だけ食材を購入し、食べきれ的分だけ調理することで、食べ残しを出さないようにしている	48.7%
4 マイバッグ、マイはし、マイカップ等を使用している(※レジ袋をもらわない、割りばしを使用しない、紙コップを使用しない)	48.1%
5 不用品はフリーマーケットやリサイクルショップを活用している	18.4%
6 生ごみは堆肥化や、乾燥(水切り)させ減量している	18.0%
7 その他	2.2%
8 取り組みをしていない	2.1%

【問8】あなたは前橋市が行っているごみ減量プロジェクト「G活チャレンジ！100」をご存知ですか。

1 知らない	67.7%
2 知っていて取り組んでいる	22.3%
3 知っているが取り組んでいない	7.5%

※「G活チャレンジ！100」とは、「みんなでごみ減量活動(=G活)に取り組み、1人1日100gのごみ減量に挑戦しよう」という意味です。

- ・チャレンジ1 「分けます！ 紙はとことんリサイクル」
- ・チャレンジ2 「分けます！ プラスチックの“包み・入れ物・袋”
- ・チャレンジ3 「捨てません！ だれかにとっては価値ある衣類」
- ・チャレンジ4 「ギュッと！ 生ごみ水切りダイエット」
- ・チャレンジ5 「パクッと！ 食べます最後まで」
- ・チャレンジ6 「持ちます！ マイはし、マイボトル、マイバッグ」

【問9】ごみ減量のために、新たな分別区分を作るとしたら、何が効果的だと思いますか。(2つまで選択)

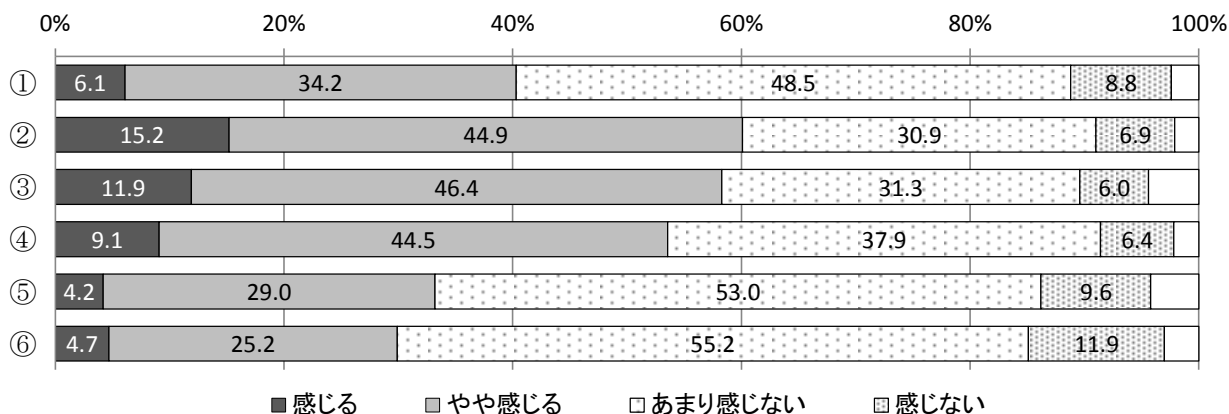
1 小型家電(携帯電話やデジタルカメラなどから希少な金属を回収し再利用)	48.1%
2 廃食用油(燃料などにリサイクル)	40.2%
3 生ごみ(堆肥化など)	36.0%
4 剪定した枝や葉(堆肥化など)	35.6%
5 その他	2.9%

※「1 小型家電」については、平成25年10月より回収を開始

■個々が光り輝くまちづくり(健康・福祉)について

【問10】次の①～⑥の設問にお答えください。

- ①生涯をとoshした心や身体、健康づくりに取り組む環境が整っていると感じますか。
- ②休日や夜間でも安心して救急医療を受けられる環境が整っていると感じますか。
- ③安心して、子どもを産み、育てられる環境が整っていると感じますか。
- ④お年寄りが生きがいを持って元気に活動していると感じますか。
- ⑤障害を持つ人が住み慣れた地域で安心して暮らしていると感じますか。
- ⑥福祉ボランティアや福祉活動に積極的に参加する人が増えていると感じますか。



【問11】あなたは、地域の高齢者を支援するためのボランティア活動等に参加したいと思いますか。

1 機会があれば参加したい	66.1%
2 参加したくない	24.3%
3 積極的に参加したい(参加している)	6.3%

【問12】充実した老後を送るために、必要だと思うことは何ですか。(3つまで選択)

1 健康を維持すること	88.5%
2 生活をするための安定した収入	72.0%
3 家族とのつながり	35.1%
4 知人や友人などとのつながり	27.4%
5 住まいを確保すること	19.5%
6 生きがいとしての仕事	17.2%
7 教養を深めるなどの文化的趣味	10.6%
8 老人クラブや自治会などの地域活動	9.3%
9 スポーツなどの活動	7.5%
10 ボランティアや社会奉仕などの活動	5.8%

【問13】将来、あなた自身に介護が必要となった場合、どのようなことを希望しますか。(1つ選択)

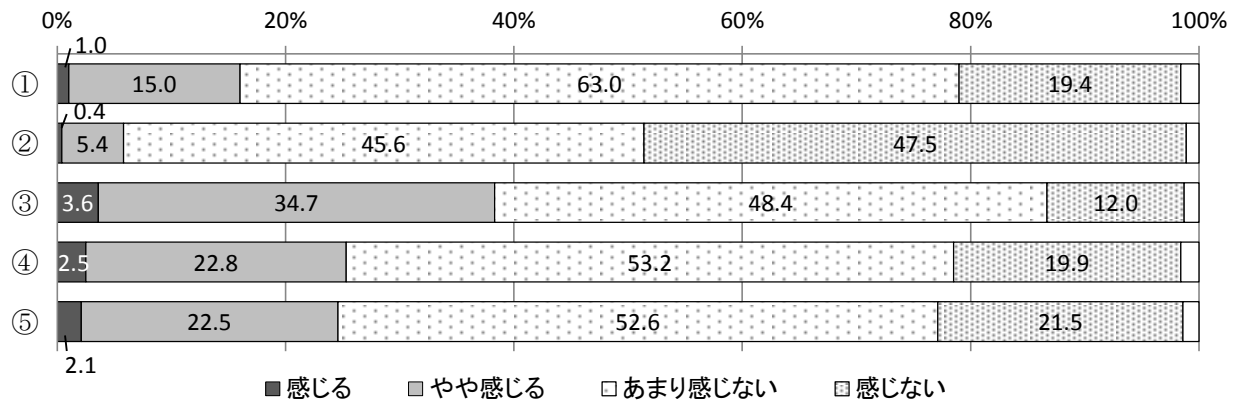
1 自宅を中心に、身近な地域で利用できるサービスを充実してほしい	33.6%
2 長期入所ができる介護保険施設を増やしてほしい	27.3%
3 サービスの質の向上、事業者やケアマネジャー、ヘルパーの知識、技能の向上を図り、どの事業者からも均一のサービスが受けられるようにしてほしい	20.6%
4 介護度の進行を防ぐための予防的なサービスを充実してほしい	11.8%
5 介護などについて身近に相談できる窓口を増やしてほしい	9.6%
6 その他	2.2%

※設問は「1つ選択」ですが、複数の選択があった場合も集計に含めたため、割合の合計が100%を超えています。

■地域資源を活かした活力あるまちづくり(産業活力)について

【問14】現在の前橋市の状況について、次の①～⑤の設問にお答えください。

- ①企業の活動に活気が戻ってきていると感じますか。
- ②中心商店街に元気にぎやかさが戻ってきていると感じますか。
- ③前橋産の農畜産物の生産や消費が拡大していると感じますか。
- ④農業に関心や関りを持つ人が増え、農業の価値・魅力が高まっていると感じますか。
- ⑤前橋の特性や魅力を活かした観光振興が行われていると感じますか。



【問15】前橋市では、豚肉料理の普及に取り組んでいることをご存知ですか。(あてはまるものをすべて選択)

1 「TON TON(とんとん)のまち前橋」のキャッチフレーズを知っている、または聞いたことがある	80.6%
2 マスコットキャラクター「ころとん」を知っている、またはイラスト等を見たことがある	70.7%
3 本市の豚肉生産量は、全国でトップクラスであることを知っている	41.2%

【問16】市外の方に対して自慢できる前橋の見どころ、イベント等は何ですか。(2つまで選択)

1 花の見どころ(赤城南面千本桜、前橋公園の桜、ばら園、フラワーパーク等)	53.1%
2 赤城山(ツツジ、紅葉、ワカサギ釣り、ハイキング等)	48.6%
3 四大イベント(初市まつり、七夕まつり、花火大会、前橋まつり)	35.3%
4 詩のまち(萩原朔太郎、前橋文学館、広瀬川等)	12.5%
5 TON TON(とんとん)のまち(豚肉料理、T-1グランプリ等)	10.7%
6 赤城温泉郷、日帰り温泉	9.0%
7 農産物直売所、赤城の恵ブランド	8.6%
8 歴史的な建造物(臨江閣、大室古墳群等)	3.7%

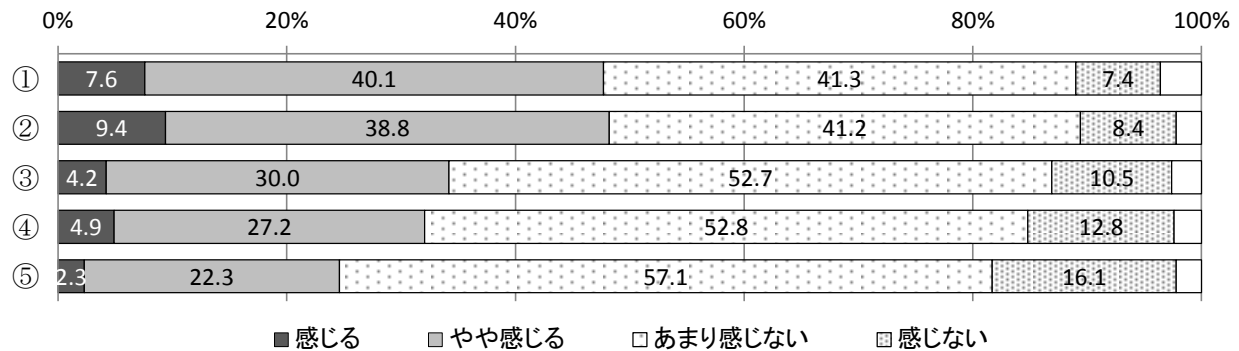
【問17】前橋の四大イベント(初市まつり、七夕まつり、花火大会、前橋まつり)の中で、市外の方に対して最も自慢できるイベントは何ですか。

1 花火大会	38.5%
2 初市まつり	34.0%
3 前橋まつり	20.2%
4 七夕まつり	5.1%

■豊かな心を育むまちづくり(教育・文化)について

【問18】次の①～⑤の設問にお答えください。

- ①子どもたちが確かな学力を身に付け、心身ともに成長できるよう学校教育が行われていると感じますか。
- ②スポーツを行う、観戦するなど、気軽にスポーツに親しむことができると感じますか。
- ③地域の伝統や歴史に親しみ、学ぶことができると感じますか。
- ④興味のあることや地域の課題について、身近な場所で学習することができると感じますか。
- ⑤優れた芸術・文化に触れる環境が整っていると感じますか。



【問19】あなたは、アーツ前橋でどのような活動があったらよいと思いますか。(あてはまるものをすべて選択)

1 公演(コンサート等)	48.6%
2 講演会(トークイベント、シンポジウム等)	33.1%
3 企画展	30.4%
4 学校との連携(鑑賞教育等)	27.8%
5 収蔵美術展	24.7%
6 鑑賞ツアー(※学芸員やアーティストの解説を聞きながら館内をめぐるツアー)	24.7%
7 ワークショップ(※活動に参加した市民が自発的に作業などを行い、学んだり創造性を発揮する取り組み)	19.0%
8 その他	4.8%

※「アーツ前橋」とは平成25年10月26日にオープンした前橋市の芸術文化施設(美術館)

【問20】あなたは、前橋市の文化にどんなイメージをお持ちですか。(あてはまるものをすべて選択)

1 わからない	31.1%
2 全体的に文化活動は盛んではない	26.2%
3 歴史的な文化遺産(建築物、古墳など)が多い	22.0%
4 地域での文化活動(発表会、展示会)などが盛んである	14.4%
5 獅子舞、人形芝居、神楽、農村歌舞伎などの地域の伝統芸能が盛んである	8.5%
6 美術、音楽、舞踊、演劇、映画等の芸術文化活動が盛んである	8.4%
7 文化をとおして人々の交流が図られている	5.8%
8 文化をとおした地域づくり活動が進んでいる	5.5%
9 文化遺産が前橋の観光資源となっている	2.8%
10 文化をとおした国際交流が行われている	1.8%

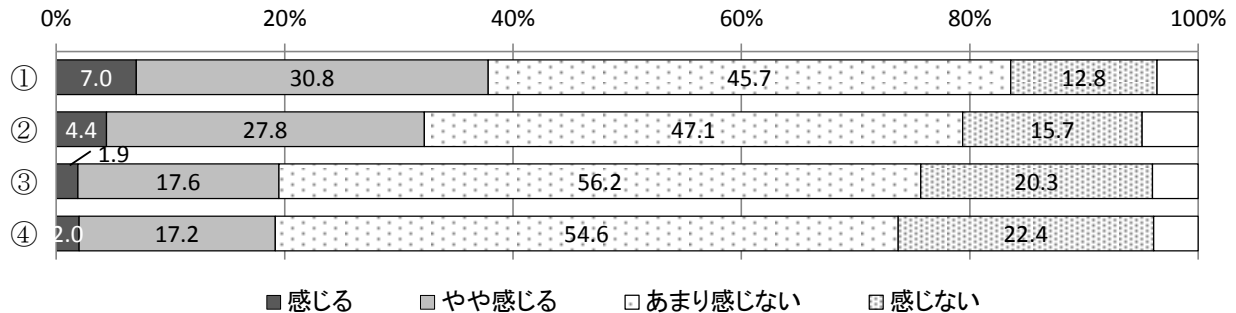
【問21】あなたは、過去1年間にどのような文化芸術の鑑賞や体験をしましたか。(あてはまるものをすべて選択)

1 映画(アニメーションを除く)	36.6%
2 美術(絵画、彫刻、写真など)	28.3%
3 音楽(オーケストラ、歌謡曲、オペラなど)	27.8%
4 鑑賞したことはない	26.0%
5 歴史的な建造物や遺跡	21.9%
6 文学(小説、詩、短歌など)	14.7%
7 その他(舞踊、落語、能、歌舞伎、地域の伝統芸能など)	10.9%
8 演劇(人形劇、ミュージカルを含む)	9.9%
9 メディア芸能(マンガ、アニメーション、メディアアートなど)	8.8%
10 生活文化(茶道、華道、書道など)	8.0%

■市民協働のまちづくり(協働・行政経営)について

【問22】次の①～④の設問にお答えください。

- ①市役所は市民や地域の協力を得ながら、さまざまな活動に取り組んでいると感じますか。
 ②市役所は、適正な予算で、効率的・効果的な財政運営を行っていると感じますか。
 ③地域特性を活かしたまちづくりが進み、全市域がバランスよく発展していると感じますか。
 ④合併や中核市へ移行したことによって、人々の交流が盛んになり、経済活動や観光事業が活性化したと感じますか。



【問23】あなたは地域のどのような活動に参加していますか。(あてはまるものをすべて選択)

1 清掃などの環境美化活動	43.4%
2 お祭りや伝統行事など	37.5%
3 ごみ減量やリサイクル活動	32.6%
4 ほとんど参加しない	24.2%
5 地区運動会や各種スポーツ行事	23.1%
6 子どもの健全育成活動	12.3%
7 敬老会など高齢者のための行事や活動	11.3%
8 パトロールや防災訓練など、防犯・防災活動	11.0%
9 芸術・文化活動	7.3%
10 その他	1.4%

【問24】ボランティア活動団体等を支援するための「前橋市市民活動支援センター」(愛称:Mサポ 前橋プラザ元気21内)をご存知ですか。

1 知らない	50.4%
2 知っているが、利用したことはない	23.4%
3 聞いたことがある	14.3%
4 知っていて、利用したことがある	10.0%

【問25】市政情報をどのような方法で得ていますか。(3つまで選択)

1 広報まえばし	89.9%
2 自治会の回覧や説明会などの地域の集会	48.0%
3 新聞	38.9%
4 テレビやラジオの市政情報番組	17.4%
5 市のホームページやフェイスブック	10.5%
6 特に市政情報の必要性を感じない	2.8%

【問26】「広報まえばし」の発行回数について伺います。

1 月2回でよい(今までどおり)	60.9%
2 月1回程度でよい	35.2%
3 その他	2.1%

【問27】あなたは、パソコンや携帯電話などでインターネットや電子メールを利用していますか。

1 利用している	65.6%
2 利用していない	32.9%

【問28】問27で「1 利用している」とお答えした方に伺います。インターネットを利用する際の利用機器は何ですか。利用する場合ごとにお答えください。(あてはまるものをすべて選択) (n=2,028)

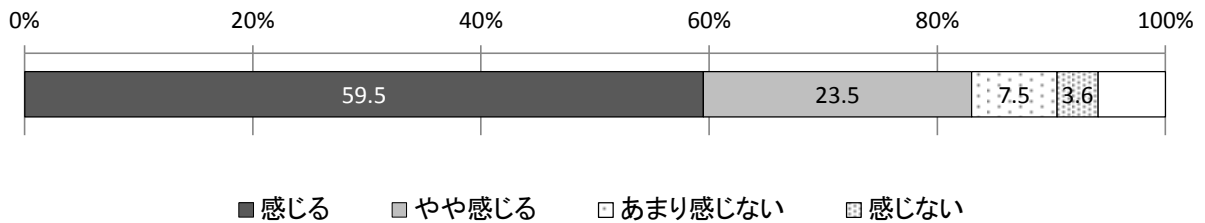
①電子メールを利用する場合

1 パソコン	60.7%
2 スマートフォン	43.2%
3 携帯電話(スマートフォンでないもの)・PHS	41.5%
4 タブレット端末	8.2%

②ホームページ閲覧、SNS利用など、電子メール以外を利用する場合

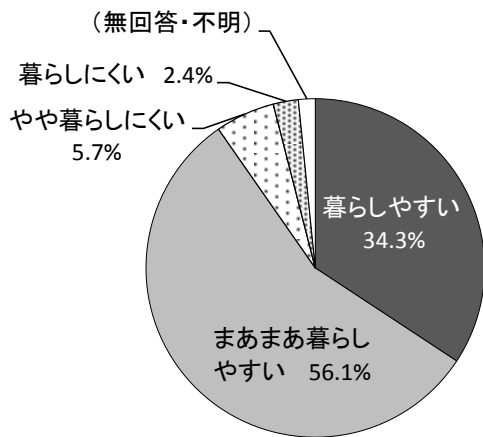
1 パソコン	68.9%
2 スマートフォン	39.0%
3 携帯電話(スマートフォンでないもの)・PHS	16.1%
4 タブレット端末	9.6%

【問29】パソコンや携帯電話などの活用により、生活が便利になったと感じますか。

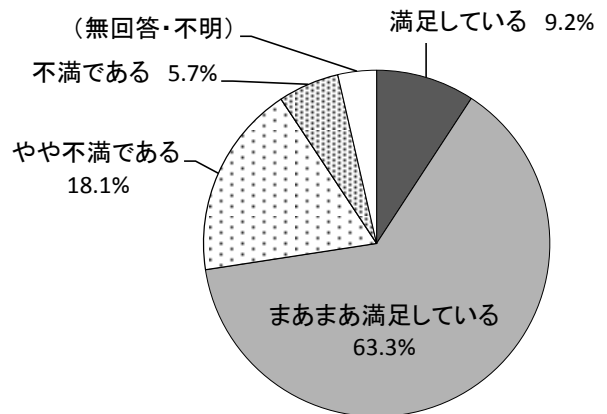


■暮らしやすさについて

【問30】前橋市は、暮らしやすいところだと思いますか。



【問31】あなたは、全体として市の行政サービスに満足していますか。



◎市政へのニーズと課題の把握

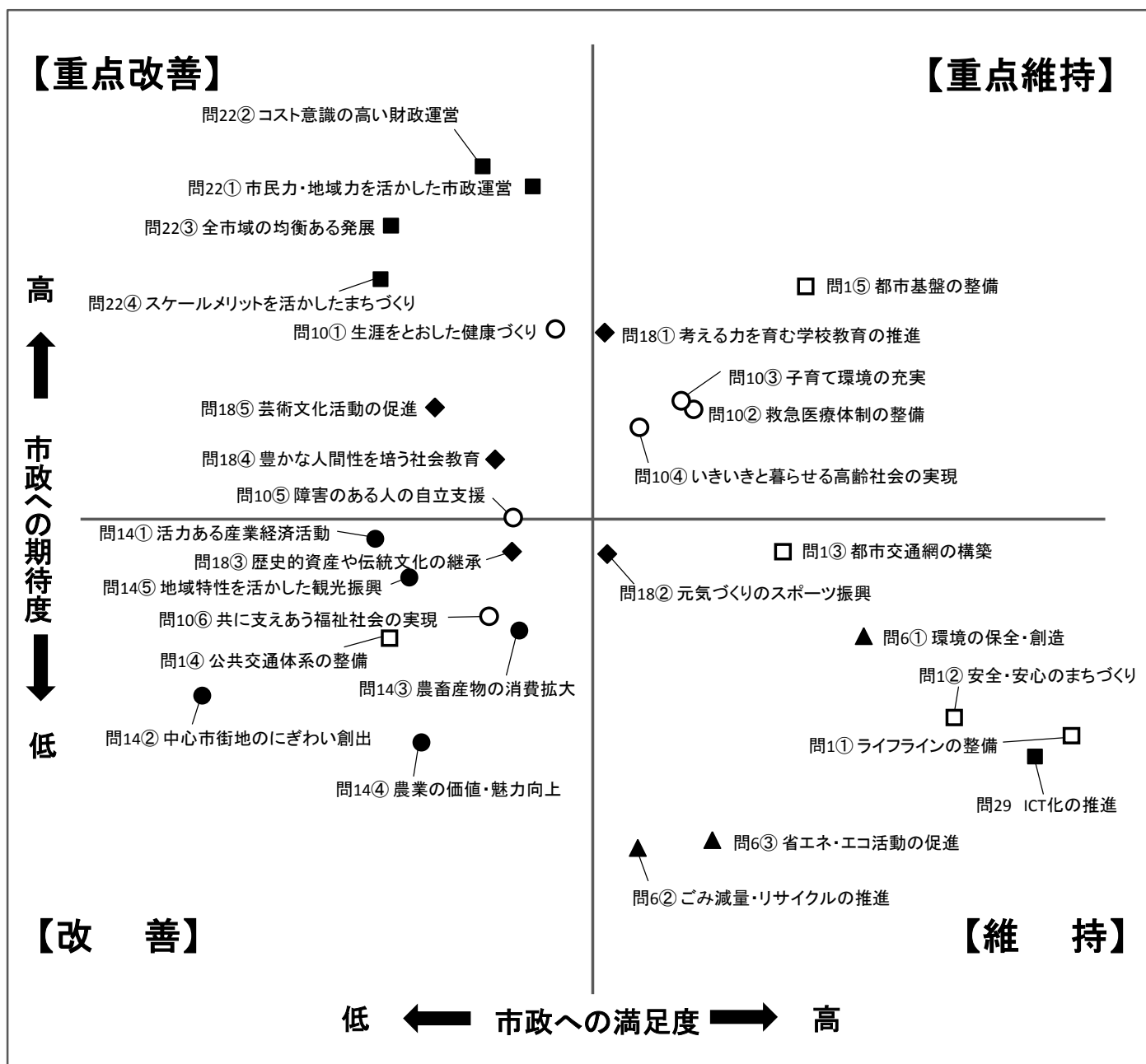
各項目別の満足度(問1、問6、問10、問14、問18、問22、問29)と市の行政サービス全体の満足度(問31)から統計的な手法を用いて分析すると、以下の4つのエリアに分類される。

【重点改善】市政への期待度(ニーズ)は高いが満足度が低いため、重点的に改善を必要とする項目
(スケールメリットを活かしたまちづくり、市全域の均衡ある発展等)

【改善】市政への期待度・満足度ともに低いため、状況に応じて改善を行う項目
(中心市街地のにぎわい創出、公共交通体系の整備等)

【重点維持】市政への期待度・満足度ともに高いため、引き続き重点的に現状維持を図る項目
(都市基盤の整備、子育て環境の充実等)

【維持】市政への期待度は低いが満足度が高いため、現状を維持する項目
(ライフラインの整備、ICT化の推進等)



□「暮らしの基盤・安全安心」の分野
●「産業活力」の分野

▲「環境との共生」の分野
◆「教育・文化」の分野

○「健康・福祉」の分野
■「協働・行政経営」の分野